

輝かしい節目の年を 希望に満ちた一年に

上越市長 中川 幹太

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、平成17年に14市町村が合併し、新たな上越市として歩みを始めてから20年の節目の年となります。この間、14の異なる文化や歴史を新たな価値として捉え、まちの魅力を高めるとともに、地域の活性化に向けて取り組んできたところであり、市民の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

さらに本年は、皆様に親しまれている高田城址公園観桜会と謙信公祭がいずれも第100回となるほか、北陸新幹線の上越妙高駅が開業10周年を迎えるなど、さまざまな節目が重なり合う輝かしい記念の年となります。このことから本年を「上越アニバーサリーヤー」と称して、ふるさとへの誇りと愛着を育むとともに、

当市の歴史や文化の魅力を市内外に発信してまいります。一方で、昨年の元日に発生した能登半島地震をはじめ、

自然災害の激甚化・頻発化、物価高騰などが社会経済活動や市民生活に影響を及ぼしている状況にあります。引き続き、市民の皆様が安心して暮らすことを第一に、「暮らしやすく、希望あふれるまち」の実現に向けて力を尽くしてまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとりまして、この一年が健康で夢と希望に満ちた幸多き年となるよう心から祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。

力強くもしなやかな市議会に向けて

上越市議会議長 渡邊 隆

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては希望に輝く新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震により、当市は最大震度5強の揺れに見舞われ、多くの家屋や事業所のほか、道路や下水道といった社会インフラも複数箇所被災するなど、大きな被害が発生し、思いもよらない年明けとなりました。このような中、市議会は、各所の復旧や再建に向

けた支援が一刻も早く届くよう、市と歩調を合わせ対応してまいりました。

一方、私ども議会の活動を振り返りますと、改選後早々に議会改革に取り組むため、議会改革推進特別委員会を新たに設置し、通年会期制やオンライン議会の導入などについて、鋭意議論を進めております。

私たちは今、大きな変革期の渦中にいます。さまざまな価値観を共有する多様性の時代といわれることに加え、激甚化・頻発化する自然災害への対応や

デジタル化の進展により、私たちを取り巻く社会は目まぐるしく、そして大きく変わろうとしています。このような社会の変化に素早く、かつ柔軟に対応し、市議会は市民の皆様への負託と信頼に応えられるよう、力強くもしなやかさを持って、引き続き努力してまいります。

結びに、合併20周年などの節目を迎えるこの一年が皆様にとりまして健やかで幸せに満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

